

地域課題の解決に向けた取組

「社会貢献の森」の取組を紹介

日高南部森林管理署

【はじめに】

日高南部森林管理署は、北海道の中央南西部に位置する日高流域の南部に広がる約 13 万ヘクタールの国有林を管理経営しています。東側に急峻な日高山脈が南北に走り、幌尻岳 (2,053m)、カムイエクウチカウシ山 (1,980m)、ペテガリ岳 (1,736m)、神威岳 (1,600m) など 1,500m を超える高峰が連なり、南側は太平洋に面しています。新冠川、静内川、三石川、元浦川など急流河川が多く、豊かな水の供給により漁業や電源開発など地域産業に重要な役割を果たしています。

また、令和 6 年 6 月には国有林の一部が日高山脈襟裳十勝国立公園に指定されました。

【社会貢献の森とは】

企業や N P O 等民間団体などと森林管理署等が協定を結ぶことにより、企業の社会的責任 (C S R) 活動等を目的とした植栽、保育等の森林整備活動のフィールドとして、国有林を提供するものです。

【取組状況】

当署では、企業等の要請に応じて、次のとおり「社会貢献の森」の協定を締結し、国有林のフィールドを提供しています。

○アオダモ資源育成活動の森



N P O 法人アオダモ資源育成の会では、野球バットの材料(アオダモ)の主産地北海道において、その資源量が減少していることを踏まえ、バット等の運動用具材としての循環利用を目指したアオダモの植樹を通じて、保水力のあるアオダモの特性を活かした自然環境の保全活動を行っています。

○アサヒコンサルタントいこいの森



アサヒコンサルタント株式会社では、地元の新冠町に所在する企業として、植樹活動等を通じて森林の持つ CO₂ の吸収や水資源の涵養機能の理解を深め、社会に貢献することを目標としています。

○2025 王子フォレストリーの森



王子フォレストリー株式会社では、林業を生業とする企業として、社員一同に森林の恵みに感謝する意識を育むことを目的に、植樹活動等を行っています。

【今後の取組】

森林とのふれあいや国民参加の森林づくり、企業の C S R 活動などの国民の多様な要請に応えるため、今後とも国有林フィールドの提供や技術指導を積極的に行っていきます。